

市議会だより



はまだ

新議員24名決定!

Vol.47

平成29年(2017年)12月1日発行

09:47



議長・副議長就任あいさつ	2
議員の紹介	3
委員会の委員が決定	4
9月定例会	6~
議会からのお知らせ	16

新体制決まる

10月の市議会議員選挙後、初の議会となる11月臨時会が、11月6・7日で開催されました。

本会議では最初に行われた議長選挙、副議長選挙では、いずれも2名ずつが所信表明を行い、その後、全議員24名による投票が行われました。

その結果、議長には川神裕司議員が、副議長には田畑敬二議員がそれぞれ当選されました。

また、各常任委員会等の構成や正副委員長も決定し、新体制が本格的にスタートしました。

議長、副議長のもと、全議員が、市民の皆様のためとして市政発展に向けて全力で取り組みます。



議長・副議長就任あいさつ

市民の視点に立った
議会改革を目指す！



議長
川神裕司

11月臨時議会において議長という大任に就くことになりました。現在全国的に市議会の活動に注目が集まる中で、議会と執行部と緊張感を持った連携を保ちつつ、山積する浜田市の行政課題の解決に向け全力で取り組む覚悟です。

今、地方都市において「人口減少」に歯止めがかかりません。2014年、日本創生会議は896の消滅可能性自治体を発表。全国の自治体に激震が走りました。当市は現在高齢化率が35%を超える超少子高齢社会を迎えています。「地域包括ケアシステム」の構築等、地方の生き残りをかけた「まちづくり」は新しいステージに突入したと考えます。「安心」して暮らせる町、可能性に挑戦できる町の実現のためには、二元代表制の一翼を担う議会の責任として、住民からの意見が議会に反映されているか、様々な計画に対して是非々々で議論が尽くされているか、市民から信頼を得る議会運営ができていますか、という視点が不可欠です。

今後、市民に信頼され開かれた議会を目指すために、委員会の映像配信検討や議会報告会の活性化等の検討に加え、政策提言の実現のため、特別委員会の設置等、議会改革に取り組む所存です。市民の方々のご意見をお待ちしています。

信頼される議会を
目指して



副議長
田畑敬二

このたびの臨時会におきまして、副議長を務めることになりました。

議長を補佐し、浜田市の発展とともに議会の活性化を図り、信頼される議会になりますよう職責を全うしていきたいと考えています。

現在、浜田市は人口減少、少子高齢化が大変速いスピードで進んでおります。まちづくりは、自分たちの地域のこととは自分たちで考え、そして自ら行動し、責任を取ることが基本ですが、行政と議会が両輪になってそれぞれの立場において最優先に取り組むことが重要です。

また、国民健康保険の県下一元化、中山間地域の農業の問題、子育て支援、防災体制等々課題は山積しています。

議会は、執行部と是非々々の関係を保ち、チェック機能を持つ機関でもあり、市民目線で公平・公正な議会運営を通じて、市民福祉の向上と市政発展のため、努力していかなければなりません。政策や考え方の違いはあっても浜田市の将来のためにという共通認識のもと、議員全員が自己研鑽に励みながら積極的に議論を行っていきたいと思います。

皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

議員 の 紹介



1番 みうら ひろき
三浦 大紀



2番 おきた しんじ
沖田 真治



3番 にしかわ しんご
西川 真午



4番 むらたけ
村武まゆみ



5番 かわかみ いくお
川上 幾雄



6番 なぎら まちこ
柳楽真智子



7番 くしぎき としゆき
串崎 利行



8番 おがわ としひろ
小川 稔宏



9番 のふじ かおる
野藤 薫



10番 うえの しげる
上野 茂



11番 とびの こうじ
飛野 弘二



12番 ささだ たく
笹田 卓



13番 ふせ けんじ
布施 賢司



14番 おかもと まさとも
岡本 正友



15番 あしたに ひで
戸谷 英夫



16番 ながみ としひさ
永見 利久



17番 ささき とよはる
佐々木豊治



18番 みちした ふみお
道下 文男



19番 たはた けいじ
田畑 敬二



20番 にした きよひさ
西田 清久



21番 しぶた みきお
澁谷 幹雄



22番 かわかみ ひろし
川神 裕司



23番 にしむら けん
西村 健



24番 うしお あきら
牛尾 昭

委員会の委員が決定！！

議会運営委員会

委員長 澁谷 幹雄	副委員長 岡本 正友
委員 三浦 大紀	委員 川上 幾雄
委員 串崎 利行	委員 野藤 薫
委員 佐々木豊治	委員 道下 文男
委員 牛尾 昭	

総務文教委員会

委員長 野藤 薫	副委員長 小川 稔宏
委員 沖田 真治	委員 西川 真午
委員 永見 利久	委員 佐々木豊治
委員 道下 文男	委員 西田 清久

福祉環境委員会

委員長 柳楽真智子	副委員長 上野 茂
委員 村武まゆみ	委員 布施 賢司
委員 芦谷 英夫	委員 田畑 敬二
委員 澁谷 幹雄	委員 西村 健

産業建設委員会

委員長 岡本 正友	副委員長 串崎 利行
委員 三浦 大紀	委員 川上 幾雄
委員 飛野 弘二	委員 笹田 卓
委員 牛尾 昭	

予算決算委員会

委員長 道下 文男	副委員長 永見 利久
委員 議長を除く全議員	

議会広報広聴委員会

委員長 小川 稔宏	副委員長 川上 幾雄
委員 三浦 大紀	委員 沖田 真治
委員 西川 真午	委員 村武まゆみ
委員 笹田 卓	委員 芦谷 英夫
委員 田畑 敬二	委員 澁谷 幹雄

11月臨時会報告

11月臨時会は11月6日、7日の日程で開催されました。正副議長の選挙、常任委員会委員の決定・正副委員長を選出などを行うとともに、市長提案のあった人事案件（副市長及び監査委員の任期満了に伴うもの等）について審議し同意しました。

一部事務組合議会議員について

浜田市議会の選出議員を選挙により選出しました。

○浜田地区広域行政組合議会議員

三浦大紀、西川真午、小川稔宏、上野 茂、西村 健、牛尾 昭

○浜田市江津市旧有福村有財産共同管理組合議会

沖田真治、川上幾雄、飛野弘二、布施賢司、佐々木豊治、田畑敬二

その他 委員等の選出

浜田市都市計画審議会委員、浜田市土地開発公社理事を総務文教、福祉環境、産業建設の各常任委員会から選出しました。

○浜田市都市計画審議会委員

三浦大紀、川上幾雄、串崎利行、布施賢司、岡本正友、永見利久、田畑敬二

○浜田市土地開発公社理事

川上幾雄、笹田 卓、道下文男、澁谷幹雄、牛尾 昭

市長提案の人事案件について審議し同意しました。

○浜田市副市長：近重哲夫

○教育委員会委員：金本妙子

○浜田市公平委員会委員：江木修二

○浜田市監査委員：小池 満、佐々木豊治

○浜田市固定資産評価審査委員会委員：小野善道、小川明夫、植田和広

平成29年9月定例会 浜田清掃第一処理場の 解体工事が決定しました。

9月定例会は9月4日から10月3日まで30日間の日程で開催され、議会から条例制定の議案が提出され、市長提出の条例改正や補正予算、平成28年度の決算認定などの審議が行われました。

議会からは、地域産業の貢献に寄与することを目的とした「浜田市地酒で乾杯条例」や企業等の振興について基本理念を定める「浜田市中心企業・小規模企業振興基本条例」が提案され、全会一致で可決しました。また、市長提出の消費税率10%引き上げ時に、法人市民税の引き下げが盛り込まれた浜田市税条例の一部改正や、浜田清掃第一処理場の工事請負契約の締結なども可決しました。そのほか補正予算として、下記のような新規事業について可決しました。

主

な

新

規

事

業

災害対応設備整備事業

災害時における情報収集及び情報共有を、より効果的かつ確実に行うための各種設備を整備する。

【内 容】

○テレビ会議システム整備	998万円
○支所対策本部用情報収集パソコン整備	81万円
合 計	1,079万円

Jアラート新型受信機整備事業

全国瞬時警報システムの受信機を現行受信機から新型受信機に更新する。

【内 容】

○Jアラート新型受信装置	180万円
○設置調整費	77万円
○消費税	20万円
合 計	277万円

石正美術館施設改修事業

石正美術館（本館）喫茶室の一部を、京都の石本正先生のアトリエをイメージした記念館的な空間に改修する。

【内 容】

○改修費	1,200万円
------	---------

法人市民税の税率(法人税割)引き下げか

総務文教委員会

総務文教委員会に審査を付託された議案1件、請願3件について審査を行いました。

「浜田市税条例の一部を改正する条例について」は、委員からは、法人市民税について自治体の制限税率の採用状況や差額率について質疑があり、県内8市は全て浜田市と同様に適用している。差額率について制限税率の自治体も標準税率の自治体も、3・7パーセントであり、国税に回ることになるとの答弁がありました。また他の委員から、財政力格差の縮小の表現について質疑があり、国税にいったん入ったのちに、地方交付税の原資として、各市町村の財政力に応じて再配分するなかで、格差の縮小を図る趣旨の答弁がありました。

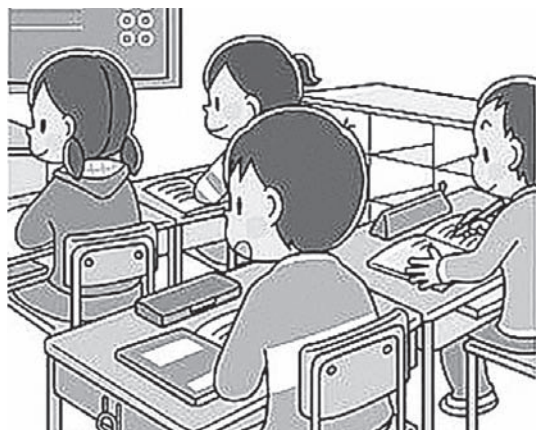
「歴史資料館の建設反対に関する請願について」は、以前不採択にしてい

る。中身が若干補足されているがほぼ同様の内容であり、状況も変化がないことから反対をする。などの意見がありました。

「小中学校へのエアコン設置に関する請願について」は、総論として暑さ対策をしてほしいという部分において賛成をするなどの意見がありました。

「市長の送迎制度廃止に関する請願について」は、慣例で規定は無いが、議会側が判断することではないので反対する。などの意見がありました。

1件の議案については、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。また、3件の請願については、1件採択、2件不採択すべきものと決しました。



子どもたちに快適な環境を

請願審査に委員間で議論

福祉環境委員会

福祉環境委員会に審査を付託されました、請願6件について審査を行いました。

「ガン患者・ガン患者の家族支援に関する請願について」は、最初に紹介議員より、経済的な支援を求める請願で、最近全体的に補助金力ツトの流れが顕著であり、請願を出された団体も、金額はわずかであったが補助金を力ツトされた。少額であったも団体の連携を図ったりする上で、補助金は欠かせないもので、会の運営が各人の人生設計にも影響を与えており、行政からの支援は必要なものであると説明を受けました。ガンの方だけではなく、難病など他の苦勞されている方や団体にも支援は必要。トップランナー方式を通じて、きちんとした支援は必要であり、前例として賛成したいとの意見がありました。

「放課後児童クラブの対応に関する請願について」は、請願の柱は支援員確保の問題と場所・環境の問題であるが、支援員確保の状況について質問があり、執行部から支援員の確保には苦慮しており、特に夏休みの時などが難しいとの報告を受けました。これに対し、委員から支援員の時給を上げるなどの提案がありました。

「病児保育への積極的な浜田市への介入に関する請願について」は、委員からは、新聞報道があった補助金の返還や今後の展開について質問がありました。執行部から補助金返還については、県を通してしっかりと国と協議していきたいと、説明がありました。趣旨については賛成できるが、現在、この問題があがっている段階で請願を採択することには問題があるという

意見がありました。6件の請願は、5件採択、1件不採択すべきものと決しました。



工事請負契約に質疑集中

産業建設委員会

産業建設委員会に付託された、議案2件と請願3件について審査を行いました。

「浜田市農業委員会の

委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について」は、

農業委員の現状の調整について質疑があり、現在委員をしている方を優先にお願いしたい。女性、若い方を優先的に選ぶよう指導があるので努力したいとの答弁がありました。また、推進委員は現場での指導が主な活動内容かとの質疑があり、地元農家との接点を多く持つようになるとの答弁がありました。

「工事請負契約の締結について（浜田清掃第一処理場解体工事）」は、落札価格と予定価格の乖離が大きく、高い金額を誘導するような設定価格があったのではないかと質疑があり、企業間で

競争・努力された結果だと思う。今後は疑義が生まれないように適正価格に努めるとの答弁がありました。

「原井町内地域住民憩いの場」確保の請願について」は、地区住民に維持管理の約束をして進めるべき。また、市役所でベンチなど余つていれば設置し、段階的にやっていけばいいので採択という意見がありました。別の委員からは、請願を出さなければやっていただけないという前例を作るのも問題なので不採択という意見がありました。

「ふるさと体験村に関する請願について」は、この施設は浜田市にとっても大事な施設であるのでもう少し様子を見ながら判断した方がよい。指定期間中に自浄能力を発揮し改善を期待しているので不採択という意見がありました。



期待される ふるさと体験村

2議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。また、3件の請願については、1件採択、2件不採択すべきものと決しました。

決算は事業効果や執行状況を集中審査

予算決算委員会

予算決算委員会に付託された平成29年度浜田市一般会計補正予算及び各特別会計の補正予算4件と平成28年度浜田市一般会計、各特別会計及び水道・工業用水道会計の歳入歳出決算認定12件について審査を行いました。

9月15日は予算議案（補正）の審査を行い、災害対応設備整備事業、ラ・ペアーレ浜田改修事業、浜田駅前広場整備事業などで延べ24件の質疑があり、採決の結果賛成多数と全会一致で可決すべきものと決しました。

9月21日、22日、25日の3日間は決算認定の審査を行い、延べ129件の質疑がありました。主な質疑として、総務文教委員会関係では、公共交通に対する施策の路線バス利用促進事業や生活路線バス運行事業、新交通システム運営事業について、収支状況や費用対効

果、利用の促進策などの係る質疑がありました。また、定住対策基金事業や美又地域振興事業、はまだ暮らし応援事業など定住につながる施策では、成果や評価について質疑がありました。

福祉環境委員会関係では、高齢者福祉サービスは、配食サービスの人数と弁当の配達以外何かあるのかとの質疑や、特別保育事業については、市と委託先、市と国、県との時系列での、それぞれの事実確認があり、ごみ処理対策事業については、委託料について質疑がありました。

産業建設委員会関係では、美又地域6次産業化支援事業について、成果や評価と法人自体の財務体質についての質疑がありました。「ようこそ！浜田事業」では、広島からの観光ツアーの内容、効果、課題についてと、

邑南町との連携事業に質疑がありました。

道路維持修繕費、河川浄化事業、河川維持管理事業では道路や河川の草刈りの単価が住民の報償費と業者委託とは違う事の原因について質疑があり、それぞれ執行部に詳細な答弁を求めたところです。

以上、審査経過を踏まえ採決の結果、付帯意見を付したうえで、全て認定すべきものと決しました。



審査の様子

平成29年9月定例会議案の賛否の公開(本会議)

反対理由の詳細については市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→会議日程・結果→賛否の公開

議案番号	議案名	賛成	反対
認定第1号	平成28年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について	21	2
認定第2号	平成28年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	22	1
認定第3号	平成28年度浜田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第4号	平成28年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第5号	平成28年度浜田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第6号	平成28年度浜田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第7号	平成28年度浜田市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第8号	平成28年度浜田市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第9号	平成28年度浜田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第10号	平成28年度浜田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第11号	平成28年度浜田市水道事業会計決算認定について	23	0
認定第12号	平成28年度浜田市工業用水道事業会計決算認定について	23	0
承認第4号	専決処分の承認について（平成29年度浜田市一般会計補正予算第2号）	23	0
議案第51号	浜田市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	23	0
議案第52号	浜田市税条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第53号	浜田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第54号	工事請負契約の締結について（浜田清掃第一処理場解体工事）	23	0
議案第55号	平成29年度浜田市一般会計補正予算（第3号）	17	6
議案第56号	平成29年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第57号	平成29年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第58号	平成29年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	23	0
請願第48号	「原井町内地域住民憩いの場」確保の請願について	21	2
請願第57号	ガン患者・ガン患者の家族支援に関する請願について	23	0
請願第58号	歴史資料館の建設反対に関する請願について	2	21
請願第59号	小中学校へのエアコン設置に関する請願について	22	1
請願第60号	市長の送迎制度の廃止に関する請願について	1	22
請願第61号	家庭保育・夜間保育制度の創設に関する請願について	9	14
請願第62号	放課後児童クラブの対応に関する請願について	19	4
請願第63号	病児保育への積極的な浜田市の介入に関する請願について	3	20
請願第64号	保育料の無料化に関する請願について	15	8
請願第65号	下水道事業の見直しに関する請願について	14	9
請願第66号	ふるさと体験村に関する請願について	1	22
請願第67号	草刈・ミゾ掃除に関する請願について	5	18
発議第3号	浜田市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について	23	0
発議第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	23	0
発議第5号	浜田市地酒で乾杯条例の制定について	23	0
発議第6号	地方における社会資本整備の促進を求める意見書	22	1

市政を問う

17名が論戦（個人一般質問）



【一般質問とは】

各議員が住民の代表として、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。

限られた字数で編集しています。くわしい内容については議会 HP でもご覧いただけます。

中山間地を総合的に 検討する部署の設置を



原田 義則

質問

中山間地域の集落を、維持管理するものは

平均年齢74歳と言われている。平成30年度からのコメ政策が引き金となり離農がますます加速し、さらに疲弊すると思われる。この状況を厳しく受け止め、中山間地域の課題を総合的に検討する部署の設置は急務と考えるが、所見を問う。

地域政策部長

常設ではないが、平成26年にプロジェクトチームを設置し、各部、庁内を横断した組織で検討してきた。今一度このチームを見直し、中山間地対策について検討する。

質問

今の答弁では納得できない。ぜひ10月の市長改選後、当選が決まれば、専門部署を設置することを確約頂きたいが、市長の考えを問う。



増え続ける耕作放棄地

市長

確約はできない。今後検討する。

質問

美又温泉の中核施設の在り方について問う。

金城支所長

民間事業者の誘致について努力する。

質問

美又温泉会館の在り方について問う。

金城支所長

民間へ譲渡の方向で、地元と充分協議を進める。

質問

市有地の利活用について問う。

金城支所長

産業振興に結び付く活用を検討する。

ふるさと納税は

重要な税収入である



岡本 正友

質問

市税の自主財源比率は繰入金差し引くと約71億円で19%である事からふるさと納税は重要な税収入である。その納税の返礼品は地域の産業振興にも大いに貢献しているが、国は寄付金獲得では返礼品の過度の競争を抑制するためにその割合30%を上限とする方向性を示したことから、ふるさとと納税の減少が予測される。官民連携の今後の対応と戦略を問う。

市長

ふるさと納税額は27年度約21億円、28年度約17億円と全国から多額の寄付を頂き、地元産業の振興にもつながっている。ふるさと納税制度の健全な発展に向けた取組みに寄与するため、市と特産品提供者が一体となって特産品のリニューアルを進め、浜田らしい

魅力的な返礼品の充実とPRに努め、これまで以上に多くの寄付を頂くように取組んでいく。

質問

ふるさと納税制度の今後の見通しを問う。

産業経済部参事

使い道による支援を呼びかける自治体も増え、より良い制度として継続が期待されている。さらに住民税の約2割が還付・控除されることから、今後も寄付額の増加が十分に期待される。



ふるさと納税制度

有収率の低い浜田市 水道事業は大丈夫か



足立 豪

質問 浜田市水道料の最大の課題は有収率の低さであるが、浜田市の有収率は県内でタントツに低く、80%を下回っているのが現状だ。10年先の有収率をどのように見込んでいるのか。

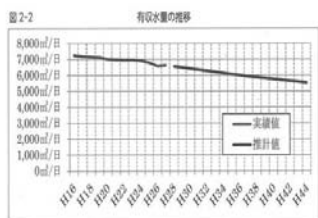
上下水道部長 浜田市の有収率は、78%から79%で推移しており、10年先の数値は定めてない。

質問 10年先の数値も掲げられないのに、企業でもある水道事業をどのように経営していくのか。

市民生活部長 今後、掲げられるよう努力する。

質問 国民健康保険加入者の職業別構成割合の推移はどのように変化しているのか。

市民生活部長 10年ほど前は、一次産業と自営業で約50%であったが、現在は会社員と無職で50%を超えており、構成が変わってきている。



適切な老朽管更新による有収率の向上が求められる

質問 構成が変化している中で、国民健康保険自体が社会保障型の保険になりつつあると考えるが、認識を問う。

市民生活部長 同様の考えである。

質問 再度確認するが、市民負担をこれ以上増やさないためにも、一般財源の投入を確認する。

市民生活部長 激変緩和措置としての投入は考えている。

国保県単位化後も保険料 設定に自治体裁量を



西村 健

質問 決算補填や保険料引き上げ抑制等の目的で行う一般会計から国保会計への繰り入れに対する認識について問う。

市民生活部長 被保険者にこれ以上の負担増は困難と考え、基金の活用により保険料上昇の抑制に努めてきたが、基金残高の減少により、昨年度から一般会計からの繰り入れを予算化した。

質問 県単位化後も繰り入れを可能とするため、国保運営方針に明記すべきと考えるがどうか。

市民生活部長 方針素案には明記されず、「計画的・段階的に必要な措置を講じていく」との表現にとどまっているが、保険料率は市町村が決定することになっており、保険料の急激な上昇を抑制するよう対応したい。



保険業務を担当する部署

質問 今後とも明記するよう主張してほしい。保険料率については、急激でなければ引き上げもやむを得ないとの考えか。

市長 市民生活に与える影響の度合いにより判断するということである。

質問 標準保険料をはじめ、県単位化について議員は何も情報を得ていない。こんな状況は即刻改善すべきではないか。

市民生活部長 県に対し意見を聞く場を設けるよう主張していく。

お魚センターの経営を 検討すべきではないか



佐々木 豊治

質問 日本一美味しい浜田の魚のPR施設でもある「しまねお魚センター」について、公設市場と合併を検討している。市が直接経営することを検討する時期に来ているのではないか問う。

産業経済部長 両施設のあり方については考え方を整理し、運営会社と協議する必要がある。「お魚センター」の今後の方針決定については運営会社自身が行うべきものであるが、市も協議に入り、早い時期に方針を明確にしたい。

質問 議会で開催した波佐地域での井戸端会や、住民の方からNHKラジオ「難聴問題」について伺った。災害時の情報収集にも大きく影響する公共放送が、日常的に聞き取りにくいのは市民サービス



しまねお魚センター

の観点で大いに問題があると思う、前回の6月定例会で質問した。答弁が十分ではなく、改めて取り上げたが対応を問う。

総務部長 前回は十分な答弁ではなかった。ラジオの難聴地域解消について、前回の質問以降、NHKと協議を重ねており、広報誌などで県外電波の受信など市民に周知したい。また、受信状況確認用のラジオも購入して、難聴地域の把握に努め送信所整備も働きかける。

高すぎる介護保険料を 市民に還元しては



牛尾 昭

質問 高すぎる介護保険料を、利用しないのに払い続けるのがつらい。元

気で頑張っている高齢者にご褒美はないのかという話をよく聞か、1割程度を還元するとしたら75歳、80歳でどのくらいかかるのか問う。

健康福祉部長 75歳で6492人で約5千万円、80歳で3687人で2900万円かかる。



好評の敬老乗車券

質問 元気で居続けるために、例えば温泉券、商

品券、タクシー券などを配布し域内還流を図ると地域が元気になると思うが市長に問う。

市長 議員と共感する部分が多いにある。介護保険は、江津市と共同でやっているのでクリアすべき課題はあるが、やり方について研究したい。



カーリング大会

その他の質問

○萩、石見空港活性化策の県の姿勢について

○サン・ビレッジ浜田アイス・スケートリンクの存続について

防災へ280MHzの 戸別受信機設置を



道下文 男

質問 先般の7月豪雨において、戸別受信機が設置されていない浜田自治

区の多くの住民から、防災放送が聞き取れない「あきらめの苦情」があった。高齢者世帯が年々増える中、防災メールやケーブルテレビ等での対応には甚だ疑問を感じるもので、低価格の280メガヘルツの戸別受信機設置を提案するが、市の考えを問う。

総務部長 戸別受信機は、極めて効果の高いものと認識しており、浜田自治区での低価格での整備へ早急に調査研究をする。

質問 人口減少対策や市内企業の働き手確保に向け、市内専門高校の入学生や宿舍確保へのさらなる支援策について問う。

産業経済部長 浜田商業高校や浜田水産高校での

県内就職率は極めて高く、今後とも情報収集に出向き、宿舍確保も含め一層の支援強化を図りたい。

質問 基幹産業である水産業活性へ、造船所の老朽化対策への考えを問う。

産業経済部長 認識しており、漁業者が安心して出漁できるよう、JFしまねと連携し漁業環境の改善へと取組む。



聞き取りにくい
防災行政無線拡声子局

地域密着の有償ボランティアの 設立は必要だ



野藤 薫

質問 地域の困りごと解決へ地域密着の有償ボランティアの設立、支援が必要ではないか問う。

健康福祉部長 今福地区の「おてまやさん」は地域限定の有償助け合いで活動されている。社協のボランティアセンターで各種研修等の助成を行っている。

質問 中山間地域や市内でも買い物に不便を感じている市民が多いが現状と移動販売等の対策は。

産業経済部長 車両購入補助の移動販売車は、旭町に2台、三隅町に1台あり、継続のため事業者は商品口入を改善するなど営業努力をされている。

質問 浜田市の総合教育会議の内容について問う。

教育長 市長と教育委員の意見交換で、教育大綱の策定に係る協議や中高

一貫教育、学校のエアコン整備、学力向上、ふるさと郷育推進などである。

質問 商店街の空き店舗対策を問う。

産業経済部長 国の空き店舗活用に積極的に取り組む方針に基づき、創業や事業承継などに対し支援を行っている。昨年度の新規出店13店舗で空き店舗活用は11件である。

その他の質問

○高校魅力化支援

○漁業の町の「みえる化」

○市の水産振興計画策定



おてまやさん
地域の困りごとで大活躍

人口減少は経済・税収に影響しないのでは



森谷公昭

質問 市長の家賃問題は怎么样了のか。

総務部長 相手から上告の申立てがあった。

質問 人口は30年で20%減ったが、ほかの数値はどうか。

参事 経済は増加した。

財務部長 税収も予算も増加した。

質問 人口減少は数字では現れていない、市長はどう思うか。

市長 特殊要因があるのでデータで判断は難しい。

質問 シャッター街が出来た原因は何か。

参事 大型店舗、浜田道、コンビニ、ネットショップが原因だと考える。

質問 人口減少は関係ないのか。

参事 関係関係はある。

質問 類似団体に比べ、福祉・教育の職員は少なく、商工係職員は2倍以

上だが効果はあるのか。
産業経済部長 職員数だけでは判断できない。

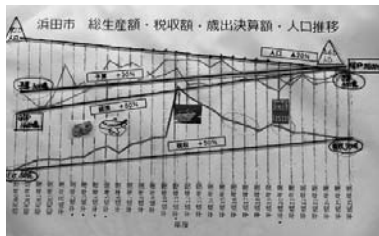
質問 類似団体では福祉系職員が130人、浜田市は70人だ。福祉系が減らされ、産業系が増えているがその効果は。

参事 企業誘致が進んで効果が現れている。

質問 今は人手不足。誘致企業に社員が流れるのではないか。

参事 新卒やU・ターンを期待する。

(注：参事は産業経済部参事)



人口減少が数字には影響しないことを示すグラフ

浜田市野球場は移転新設か、現地改修か



笹田卓

質問 老朽化が進む浜田市野球場は移転新設か、現地改修か。

教育長 浜田市野球場は、地盤沈下や飛球の危険性を考慮すると移転新設が最適だと考えるが、県営施設の要望をすると完成までに10年以上かかる。

当面は、安全対策を中心とする現地改修を行い、硬式野球の県大会が開催できるような施設にしたい。



2年後の島根県大会は浜田で開催を

質問 防球ネットの整備やスピード計測付きの電光掲示盤スコアボードに改修し、浜山球場の改修で使えない2年後の島根県大会の開催を誘致してはどうか。

教育長 2年後の島根県大会開催に向けて改修できるか前向きに協議する。

市議会の通年会期制に対する市側の考えは



江角敏和

質問 市議会側が結論を導き出してきた「通年会期制」の導入に対する、執行部側の見解を問う。

※通年会期制とは、地方自治法の一部改正により、議会の定例会・臨時会の区分を設けず、通年の会期とすることができるとされた制度。

総務部長 議会の意向を尊重しながら、メリット・デメリットや、導入自治体の動向・評価も踏まえ、議会側と検討、協議を進めていきたい。

質問 タブレット端末の導入に対する見解を問う。

総務部長 情報伝達の迅速化、スケジュールの共有化、資料作成や発送作業などに係る事務作業の軽減、そして議員側も様々な面で利便性が向上することから、予算化できるよつ、議会事務局と

一緒に取組んでいきたい。
質問 全員協議会や各委員会の動画配信についての見解を問う。

総務部長 議会側で各種会議の動画配信については、今後、議会側内での配信方法や整備費の予算化等の検討を踏まえ、議会事務局と、検討、調整していきたい。



改革を進める浜田市議会

「田囃子」を継承する 仕組みづくりが急務



飛野弘二

質問 浜田市の伝統芸能「田囃子」の保存会の団体数を問う。

教育部長 浜田自治区4団体・金城自治区7団体・旭自治区5団体・弥栄自治区10団体・三隅自治区3団体で合計29団体。

質問 実態をどのように分析しているのか問う。

教育部長 少子高齢化と人口減少の進行により後継者不足で各団体の活動が難しくなっている。

質問 協議会を立ち上げ「守り、伝える」仕組みづくりが急務と思うが所見を問う。

教育長 守り伝えなければならぬ伝統芸能であると考えている。話し合いの場を設けるなど実態をよく把握し、今後の在り方など検討したい。

質問 地域伝統芸能全国大会の開催要領を問う。



献穀御田植式で奉納される田囃子(弥栄)

産業経済部長 高円宮妃殿下をお迎えして開催される。出雲市民会館をメイン会場とし、サテライト会場は11月5日石中央文化ホールで神楽等が上演される。田囃子も合わせて出演をお願いしている。

質問 ふるさと寄附の用途において、石見神楽等の伝統芸能の継承とあるが、田囃子の継承はこれに該当するのか問う。

教育部長 田囃子も対象になる。

道路環境美化事業の 単価見直しは



田畑敬二

質問 各地域において、市道の環境美化整備事業の単価見直しは。

市長 ふるさと寄附を活用し制度を検討中。案として、高齢化率を考慮し高い地区については、20円または30円に引き上げることを検討中。河川の草刈も同様の考え方で進めている。

質問 7月の豪雨災害は、激甚災害になるのか問う。

都市建設部長 農業災害は、激甚災害に指定される見込みである。一般土木災害は対象外と考えている。

質問 激甚災害の場合、国庫補助率は何%位か。

都市建設部長 90%以上を見込んでいる。90%の場合には5%を浜田市が負担、残りの5%は受益者負担である。

質問 公民館周辺の管理



環境美化整備事業の市道

が住民負担になっている現状を把握しているのか。

地域政策部長 基本的には、地域の方々に管理をお願いしている。各地域の実態を調査し対応する。

質問 市有地に、日清・日露・第一次・第二次大戦の慰霊碑があるが、管理はどの部署か問う。

健康福祉部長 遺族会や社会福祉協議会から地元高齢者クラブの協力を頂いている。今後は、社会福祉協議会と協議し対応を検討する。

再犯防止にむけ市を あげた社会復帰支援を



上野茂

質問 来年開所10周年を迎える島根あさひ社会復帰促進センターは、開所時「人権尊重都市宣言」が制定された。再犯率の低いこの施設を、市をあげて社会復帰支援をすべきではないか。

旭自治区長 大きな問題となるのが、受け入れ先の従業員や近隣の住民の不安感であり、偏見を取り除き、保護更生に理解を深めてもらうことが重要で今後浜田市全体で取り組む課題と認識している。

質問 刑務官の定住に向け、第三工区の開発の考えがあるか問う。

旭自治区長 この丘陵地を開拓すると、旭インター周辺一帯が開放的な地域になり、賑わいも創出されるものと想定される。今後、刑務官家族や周辺住民のニーズの把握に努

め、状況を見極めたうえで、開発構想について検討する。

質問 この施設が幅広く地域経済を支えている。さらに連携を深め地域の活性化に向け全市をあげた取り組みが必要と考えるが。

市長 経済波及効果は年間20億円、350名の民間職員雇用が生まれ、地域経済や地域に与える活力は大きい。今後同センターと一丸となって地域の活性化に取り組む。



島根あさひ社会復帰促進センター

現実的な危機管理体制と 教職員の多忙解消を



小川 稔 宏

質問 岩国基地機能強化により米軍機低空飛行訓練の騒音や事故が増すことへの懸念について問う。

総務部長 訓練が拡大傾向にあるとは感じていないが、周辺自治体と一緒に

なっている訓練の中止について国等への要請を強化する取組みを積極的にすすめる。

質問 ミサイル発射に伴う危機管理について、国の避難想定、避難訓練は現実的で恐怖心をおおるだけではないのか。

総務部長 どうしたら良いかを伝え、いざというとき各自の判断で可能なことをやっていただくための情報伝達や避難訓練であると考えている。

質問 教職員の多忙化の認識と解消に向けた取組みを問う。

教育長 極めて重要な課

題であり解消に向けた協議の場として検討委員会を設置したい。また独自のアンケートも実施する。

質問 給特法による教職調整額はいくらなのか。

教育長 平成28年4月時点平均46・1歳で1万5310円である。

質問 小中学校普通教室へのエアコン設置の考え方を問う。



現在使用中のJアラート関連機器

質問 三年前島根県立大学で、浜田市主催の中国四国地方自治体職員「ふるさと寄附サミット」があった。その時、事例発表した北海道の上士幌町は、今ふるさと寄附を使って、保育料の無料化を実施、五千人弱の人口が、一年で六十六人増加したと発表している。市長の認識は「浜田市の一

番の課題は人口減少」なのに、この八月末には一年間で七九三人の減少。昨年十六億円あったふるさと寄附で保育料を無料にし、人口減少対策に取

組むべきではないのか。
健康福祉部長 保育料の無料化は、一度実施すると継続する必要がある。保育料の無償化は、自治体が争うものではなく、国の責務である。

質問 そのようなものの

保育料の無料化を、 ふるさと寄附を使つて



澁谷 幹 雄

考え方だから、人口減少のスピードが加速しているのでは。

市長 人口減少対策は、一つで効果があるものではなく、いくつかの組合せが必要と考えている。

質問 多くの小中学校が避難所に指定されているが、トイレの洋式化が遅れている。どんなスピードで、高齢者や児童生徒が使いやすい洋式トイレに更新するのか。



長浜小学校の洋式トイレ

質問 7月の災害時に、避難所開設前に自主避難された方があった。今後自主避難者をいち早く把握するための、連絡体制が必要ではないか問う。

総務部長 迅速に対応できるように努めていく。

質問 避難所運営マニュアルは、いち早く到着した人が確認できるように、避難所に設置することが大事ではないか問う。

総務部長 今後、避難所に置くことを検討する。

質問 町内会のつながりが強い地域では、集落単位で誰が誰のお世話をするかを明確にすることが、より有効ではないか問う。

健康福祉部長 いざという時の体制づくりができるよう、関係各課と連携し推進していく。

防災・減災の計画的な 対策が重要では



柳 楽 真智子

えるが、防災会議に女性は何人いるか問う。

総務部長 女性委員は1名である。避難所運営に女性の視点が必要だと考え、次期委員委嘱の際には女性の推薦をお願いしている。

質問 防災訓練や防災便利帳などの先進的な取組みがあり、防災の事例発表の場を設け情報共有を行ってはどうか問う。

総務部長 まちづくり推進課と、実施に向けて検討する。

質問 防災対策に女性の視点や意見が重要だと考



防災意識の向上が大事

議会からのお知らせ

12月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
					12/1 本会議 (議案の提案説明)	2
3	4 本会議 (個人一般質問)	5	6	7	8 本会議 (議案質疑)	9
10	11 総務文教委員会	12 福祉環境委員会	13 産業建設委員会	14 予算決算委員会	15 予算決算委員会	16
17	18 休会	19 本会議 (表決)	20	21	22	23

議会を傍聴してみませんか？

12月定例会は改選後、初めての定例会です。浜田市議会では、本会議や委員会など会議を原則公開としており、市民の皆さんは質問や審議の様子を傍聴することができます。浜田市の重要事項から身近な問題まで、真剣なやりとりをぜひこの機会に傍聴してみてください。

(本会議は定員 55 名、委員会は定員 7 名)



傍聴席から見た風景



編集後記

議会広報広聴委員会も新しいメンバーが決まりました。次の市議会だよりから同委員会による編集作業となります。ご期待ください。

(議会事務局)



【議長なんでもメール】 議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市議会HP→議長なんでもメール

★この議会だよりは1部あたり42・40円でできています。